

総務、産業、建設常任委員会記録

招 集 年 月 日	令和7年5月27日（火）
招 集 の 場 所	議員控室
開 会	午前9時37分
出 席 者	委員長 佐野 善弘 副委員長 鈴木 恵悦 委員 吉田 二郎 委員 山岸 三男 委員 伊藤 牧世 委員 櫻井 功紀
欠 席 者	
職務のため出席 した者の職氏名	議会事務局主事 佐藤 理子
協 議 事 項	・土地の有効活用とまちづくり
そ の 他	
閉 会	午前11時10分

2号様式 協議の経過

佐野委員長	第15回総務産業建設常任委員会を開催いたします。 前回の会議で今年度の行政視察の候補として岩手県北上市と金ケ崎町を挙げました。会議後に視察の依頼をしましたら、北上市は受入可能とお返事をいただきましたが、金ケ崎町は担当課の都合が合わないということでお断りをされました。そこで、7月15日の視察候補地を鈴木副委員長と相談しまして、岩手県の滝沢市と矢巾町を候補に挙げております。滝沢市と矢巾町と富谷市の概要についてウィキペディアを印刷した資料を皆さんにお渡ししています。その中でですね、今日タブレットを皆さんに持ってきていただいたんですけども、議員NAVIを皆さんお開きになってるかなと思いますけれども、その中で矢巾町の内容を皆さんで確認をしたいと思いますので休憩いたします。
	休憩 午前9時46分 再開 午前10時05分
佐野委員長	再開します。 皆さんに矢巾町の企業立地推進ビジョンという項目を確認していただきました。いろいろ助成金とかも結構な金額を出しているようでございますけれども、一応候補地ということで考えておりますけれども、皆さんはいかが考えてるのかお聞かせ願いたいと思います。 まず、もし矢巾町に視察に行ける場合の質問項目をまとめた資料を副委員長と作成してみたので確認願います。 (資料の朗読) 相手があることですから申し込みをして受け入れ可能かは分からないですけど、人口や面積を踏まえて矢巾町に申し込みをしてみたいと思います。皆さんから意見をお聞きしたいと思います。 伊藤委員。
伊藤委員	皆さんと一緒に見ているビジョンのほうなんですけど、美里町の都市計画マスタープランの位置づけとかそういったところと比べていくと、矢巾は総合計画の下に都市計画マスタープランがあって、その下に調整という形で各個別計画とマスタープランと今お話ししている誘致の活動だったりとかが入っているので、非常に細かくて分かりやすく、こういったビジョンの内容の説明とあと計画、具体的施策っていうところで、ちょうど私たちが知りたい内容が項目別にされているので、こういったお話聞くのもすごくいいのかなとは思いました。
佐野委員長	鈴木副委員長。
鈴木副委員長	国土利用計画、皆さんでまた新たにタブレットを見ていただいてもいいんですけども、土地の面積が67平方キロメートルで、農地がですね2,735ヘクタールということで40%ぐらい、半分が農地のようです。美里町は7割ぐらいですかね。それと森林が24%ということで、当町と比べると、この矢巾町も森林はあるにしても平たんな町で、農地が大きく占めていると。市街地も宅地ということで11.8%という、美里町に近い面積、レイア

	ウトになっているなというところもありますので、あと議会懇談会の中でもっと美里町と規模の同じようなところのほうが参考になるんじゃないのかといった意見もちょっと出されたところも頭に残ってまして、矢巾はそういった意味ではそれに近いのかなという考えもございます。
佐野委員長	吉田委員はどうですか。
吉田委員	私も視察については、同規模のところがよろしいと思います。
佐野委員長	山岸委員。
山岸委員	よろしいと思います。
佐野委員長	櫻井委員。
櫻井委員	皆さんの意見に同意します。
佐野委員長	ありがとうございます。それでは7月15日の午後から矢巾町へ視察を申し込んでもよろしいですか。（「はい」の声あり） もし、受け入れ可能となった場合、依頼文書や質問事項を約1か月前までに送付したいので、6月会議後にその辺を皆さんで協議してから送付したいと思います。6月10日あたりに協議したいのでよろしくお願いいたします。 休憩します。
	休憩 午前10時22分 再開 午前10時41分
佐野委員長	再開します。 行政視察の関係は整理させていただいて、2番目の団地造成ということで、富谷市を調べてみました。ウィキペディアの内容を確認する他に、議員NAVIで富谷市を調べていただきます。 （ウィキペディアの朗読） 議員NAVIで各自で富谷市について調べてもらいます。 休憩します。
	休憩 午前10時46分 再開 午前10時55分
佐野委員長	再開します。 それでは再開いたします。 今ですね、富谷市の内容を検索していただいておりますけれども、全国でも有数の人口増になっています。平成28年に富谷町から富谷市に人口が5万人を超えたから、市制を施行しているというふうな状況でございます。今仙台からの病院の移転とかがありまして人口が増えておりますが、交通網がまだまだ整備されてない。美里町は交通網は電車とか発展していますがなかなか、人口が伸びていかないというふうなことでございます。一応今後なんですけどもね、もし団地造成についてどういうふうな内容になっているのかその辺もみんなで勉強してもいいんじゃないかなと思っています。皆さんいかがですかね。 鈴木副委員長。

鈴木副委員長	委員長がせっかく資料、それから今タブレットでも目を通していただいたんですけども、やっぱり特徴は地の利と言いますか、仙台の隣にあるということで、いろんな面での有利さ、ある意味ブランド的なことがあるんでしょうね。民間の不動産会社とかが大規模開発をしたというか、農地を開発したというところではないんですね。全国でもトップクラスの人口増加というようなことで、泉が仙台市に合併しておりますので、その隣ということでですね、富谷市は北部工業団地に勤めてる方が住宅を持ってる方が多いというふうなこともお聞きしますので、住んでもらうような土地開発っていうか、住宅開発をした中で、このように人口が増えたというふうな状況になっていると思います。
佐野委員長	吉田委員はどうですか。
吉田委員	今副委員長が言ったように、行政が進めて開発されたんじゃないくて民間企業が開発を取り組んでいった場所なのかな。だから、聞くことはやぶさかじゃないんでしょうけども、ちょっとあんまり乗り気じゃない、悪いけど。
佐野委員長	山岸委員いかがですか。
山岸委員	当町と比較して、富谷市は土地とか立地とかある意味、要件を満たしていたと思います。市長がどういう政策を推し進めていたのか話は聞いてみてもいいと思う。
佐野委員長	伊藤委員。
伊藤委員	富谷と同じことをしようっていうふうな考えで見るとはなくて、富谷市は住みたくなるまち日本一というのをうたっていて、その中で、いろんなリーフレットやイベント、ホームページとかの見やすさとか開きやすさ、どういった町なんだろうと思ったときに分かりやすいような、周知と、PRを行っているっていうところはすごくいろんな意味で学ぶところなのかなと思います。それによって、どうしても注目度も上がり、その中で子育て支援は、とか自分の知りたいところに入っていくと。合致すれば移住してもいいのかなという感じに持っているのか。 私は富谷の方向性っていうところが、人を呼んでいるのかなあという感じがします。とにかく情報がいっぱいある。それを各リーフレットだったり、冊子だったりとかホームページとかで、すごくPRとか出してるなっていうのは、ここにいても富谷の情報が入ってくるっていうのはやはり何かしらの努力をしているんだろうっていうところとしては、勉強してもいいのかなと思いました。
佐野委員長	櫻井委員はいかがですか。
櫻井委員	今、皆さんのお話聞きましたけども、我々の研究テーマとはちょっとそれるかなあとは思いますが、やはり今、伊藤議員言ったとおり住みやすいっていうか、若い人たちがどんどんこぞって家を建てているんですよ。なぜかという土地が安いし、通勤範囲が近いということと、道路がしっかりこの造成によって区画整理されたわけです。学校も多いしね、やはり若い人たちが住みたくなるようなね、行政の補助教育についてはどのような

	ことをしているのか、あるいは住宅関係についてはどのような行政補助をやっているのか、それを勉強するのも一ついいんじゃないかなあと思うんだね。
佐野委員長	皆さん御意見は分かれるような状況でございますけども、もう少しいろいろ調べて、まだ時間ありますので、皆さんと協議して、いろいろ勉強、そのままをまねすることはできないけども手法とかその中では美里町で取り入れられる内容もあるんじゃないかなと、その辺も今後ですね、課題というふうなことで、本日は整理させていただいてもよろしいですか。（「はい」の声あり） それでは本日の内容を7月15日の矢巾の内容がどうかっているのを確認してからまた皆さんと御相談したいというようなことで、この辺で大体締めたいと思うんですけど皆さんいいですか。（「はい」の声あり）
鈴木副委員長	いろいろと御意見ありがとうございました。今日のテーマであります視察について、北上市ともう1町ということで、矢巾町は事務局でその辺を連絡をとっていただけるということで、近日中にその辺は分かるだろうということを理解しております。受入していただくことを期待しまして、以上で15回目の総務産業建設常任委員会を終わらせていただきます。 ありがとうございました。
	閉会

会議の経過を記載して相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和7年5月27日

総務、産業、建設常任委員会

委員長